

災害拠点病院の指定状況

二次医療圏	広域二次救急医療圏					災害拠点病院協議会(H18.12)及び各圏域保健医療福祉推進会議(H19.1~2)承認				
	名称	地域	人口	目標値	1病院当たり人口	病院名	か所数	目標値との差	地域中核災害医療センターの対象地域	その他意見等
名古屋医療圏	名古屋A	千種区・昭和区・守山区・名東区	573,233	3	191,078	名古屋第二赤十字病院(805) 名古屋大学附属病院(985) 名古屋市立東市民病院(488)	3	0	}	
	名古屋B	東区・北区・西区・中区	445,029	2	222,515	名古屋医療センター(754)	1	1		・城北病院(251)(H23年に「西部医療センター中央病院(500)」として移転予定)を、H23年の移転時に指定する予定。
	名古屋C	瑞穂区・南区・緑区・天白区	621,153	3	207,051	社会保険中京病院(663) 名古屋市立大学病院(772) 名古屋記念病院(464)	3	0		
	名古屋D	中村区・熱田区・中川区・港区	562,696	3	187,565	名古屋第一赤十字病院(857) 名古屋掖済会病院(662) 中部労災病院(621 556)	3	0		
	海部E	津島市・愛西市・弥富市・海部郡	329,515	2	164,758	厚生連海南病院(547) 津島市民病院(440)	2	0		
尾張西部医療圏 尾張中部医療圏	尾張西北部F	一宮市・稲沢市・清須市・北名古屋市・西春日井郡	662,059	3	220,686	一宮市民病院(530) 総合大雄会病院(312) 厚生連尾西病院(323)	3	0	}	・地域中核災害医療センターは、救命救急センターの指定と同時に指定する。
尾張北部医療圏	尾張北部G	犬山市・江南市・岩倉市・丹羽郡	274,708	1	274,708	厚生連江南厚生病院(570)	1	0		
	春日井小牧H	春日井市・小牧市	443,639	2	221,820	小牧市民病院(544)	1	1		・1か所の指定について調整を続ける。
尾張東部医療圏	尾張東部I	瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・愛知郡	439,562	3	146,521	藤田保健衛生大学病院(1475) 愛知医科大学病院(957)	2	1		・公立陶生病院(666)を、耐震化計画が具体化した時点で指定する予定。
知多半島医療圏	知多J	半田市・知多市・東海市・大府市・常滑市・知多郡	588,299	3	196,100	半田市立半田病院(500) 厚生連知多厚生病院(206)	2	1		・1か所の指定について調整を続ける。
西三河南部医療圏	衣浦西尾K	刈谷市・知立市・安城市・高浜市・碧南市・西尾市・幡豆郡	644,888	3	214,963	厚生連安城更生病院(692) 刈谷豊田総合病院(607) 西尾市民病院(420)	3	0		
	岡崎額田L	岡崎市・額田郡	394,504	2	197,252	岡崎市民病院(650)	1	1	・1か所の指定について調整を続ける。	
西三河北部医療圏	豊田加茂M	豊田市・西加茂郡	460,418	2	230,209	厚生連豊田厚生病院(600) トヨタ記念病院(513)	2	0		
東三河南部医療圏	東三河平坦N	豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市・宝飯郡	700,944	3	233,648	豊橋市民病院(866) 豊橋医療センター(414) 豊川市民病院(339)	3	0	}	
西三河北部医療圏	東三河山間O	新城市・北設楽郡	64,978	1	64,978	新城市民病院(255)	1	0		
	計		7,205,625	36	200,156	計	31	5		

()内は、一般病床数
 は、基幹災害医療センター(2か所)
 は、地域中核災害医療センター(11か所)
 は、地域災害医療センター(18か所)

- (1)【基幹災害医療センター】は、救命救急センターの指定を受けているものから選定し、平常時からの研修・訓練等を通じて県下全域の災害医療体制の機能強化の役割を担う。
- (2)【地域中核災害医療センター】は、原則として救命救急センターの指定を受けているものから選定し、新たに指定する災害拠点病院の取り纏めと機能強化を通じ、当該地域の災害医療体制を強化する役割を担う。
- (3)【地域災害医療センター】は、原則として新たに指定される災害拠点病院とし、【地域中核】と連携して地域の災害医療体制の向上に努める。